3197	松尾　尚朋　他8名	トマト	麗旬、かれん

施肥　有機質･土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

＜土づくりの使用資材･肥料について＞

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
海力№1	海藻抽出物	長浜商店	0.7	0	1		0.2			元肥				0.0	272	9/28	1	0.0
泥炭	泥炭	入江商店		0						元肥				0.0	55	9/28	1	0.0
硫酸カリ	硫酸カリ			0						元肥				0.0	2.7	9/28	1	0.0
ホウ砂	ホウ砂								100	元肥				0.0	1.8	9/28	1	0.0
アニリッチ6-8-3	木灰加里・蒸製骨粉・鶏肉骨粉・魚粉・なたね・蒸	長崎油飼工業		0					100	元肥				0.0				
フィッシュパワー	魚粕、米ぬか、有用微生物	長崎蒲鉾水産加工業協同組合	5.9	0	6.8		1.6		100	元肥				0.0				
カキライム	牡蠣殻100％	日化工業㈱		0					100	元肥				0.0				
ぼかし　6-1-8	動物かす粉末・植物油かす・副産複合肥料	日本バイオテックス	6	0	1		8			元肥				0.0				
マイルドフミン	腐植酸・炭素・ケイ酸・石灰・苦土・マンガン・ホーソ	三井物産アグロビジネス		0						元肥				0.0				
コフナ1号	好嫌気性微生物群、製紙粕、ﾄｳﾓﾛｺｼ粕、鶏糞	ニチモウ(株)	1	0	1		0.6		100	元肥				0.0				
苦土石灰	苦土石灰	九州日紅		0						元肥				0.0				

【慣行農法との比較】

*化学肥料

窒素分で比較して　当地比　5 割減

化学肥料	窒素使用量(kg/10a)
慣行使用量	33
計画使用量	15

*節減対象農薬

当地比　5 割減

節減対象農薬	計画回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	20	64

病虫害の防除　使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺虫	ベストガード粒剤	ニテンピラム		コナジラミ類・アブラムシ類	5g/培土、1～2g/株					5g/培土、1～2g/株	1g	9/3	1	1	1	4
殺虫	アルバリン粒剤	ジノテフラン		コナジラミ類・ハモグリバエ類・アブラムシ類	5g/培土、1～2g/株					5g/培土、1～2g/株	1g	10/2	1	1	1	5
殺菌	イオウフロアブル	水和硫黄		殺菌	500～1000	100～300L			0	500～1000	200L	11/1,1/27	2	0	－	－
殺菌	インプレッション水和剤	バチルス ズブチリス		殺菌	500				0	500	200L	11/12,1/27	2	0	－	－
殺虫	サフオイル乳剤	調合油		殺虫	300～500	100～500L			0	300～500	300L	9/5,9/22,12/3	3	0	－	－
殺菌	トマトトーン	4－CPA		殺菌	100					100		10/3	1	1	1	1
殺虫	フーモン	ポリグリセリン脂肪酸エステル		殺虫	1000	150～500L			0	1000	100L	10/12,1/5	2	0	－	－
殺虫	ベミデタッチ	グリセリン酢酸脂肪酸エステル		殺虫	500	100～300L			0	500	10L	10/5	1	0	－	－
殺虫	ムシラップ	ソルビタン脂肪酸エステル		殺虫	500	100～300L			0	500	200L	9/12,10/26,11/9	3	0	－	－
殺虫	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン		コナジラミ類	4000	100～300L				4000	100L	10/2	1	1	3	3
殺虫	プレバソンフロアブル5	クロラントラニリプロール		コナジラミ類・ダニ・ハモグリバエ類・オオタバコ	2000	100～300L				2000	300L	12/3	1	1	3	4
殺虫	ベネビアOD	シアントラニリプロール		コナジラミ類・ハモグリバエ類・オオタバコガ・アブラムシ	2000	100～300L				2000	100L	10/16	1	1	3	4
殺菌	レーバスフロアブル	マンジプロパミド		疫病	1500～2000	100～300L				1500～2000	200L	11/9	1	1	3	3
殺虫	ダブルシューターSE	脂肪酸グリセリド・スピノサド		殺虫	1000	100～300L									2	2
殺虫	ディアナSC	スピネトラム		アザミウマ・コナジラミ・ハモグリバエ・オオタバコガ・ハスモンヨトウ	2500～5000	100～300L									2	2
殺虫	アファーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩		ハモグリバエ類・オオタバコガ・ダニ	2000	100～300L									5	5
殺虫	アニキ乳剤	レピメクチン		コナジラミ類・オオタバコガ・ハスモンヨトウハモグリバエ類	1000～2000	100～300L				2000	100	2/27	1	1	3	3
殺菌	アフェットフロアブル	ベンチオピラド		灰色かび病・葉かび病・菌核・うどんこ病	2000	100～300L									3	3
殺菌	エトフィンフロアブル	エタボキサム		疫病	1000	100～300L									4	4
殺菌	オロンディスウルトラSC	オキサチアピプロリン、マンジプロパミド		疫病	2000	100～300L			2						3	2,3
殺虫	クリアザールフロアブル	スピロメシフェン		サビダニ・タバココナジラミ類	4000	100～300L				4000	100	2/9	1	1	2	2
殺虫	グレーシア乳剤	フルキサメタミド		コナジラミ類・トマトハモグリバエ類・ハンモスヨト	2000	100～300L									2	2
殺虫	コテツフロアブル	クロルフェナピル		ダニ・タバコガ	2000	100～300L									3	3
殺菌	ザンプロDMフロアブル	アメトクトラジン、ジメトモルフ		疫病	1500	100～300L			2						3	3,3
殺菌	シグナムWDG	ピラクロストロビン、ボスカリド		うどんこ病・すすかび病・灰色かび病・葉かび	2000	100～300L			2						2	2,3
殺菌	セイビアーフロアブル20	フルジオキソニル		灰色かび病	1000～1500	100～300L				1500	100	1/19	1	1	3	3
殺虫	ダニトロンフロアブル	フェンピロキシメート		サビダニ・タバココナジラミ類	1000～2000	100～300L									3	3
殺虫	トランスフォームフロアブル	スルホキサフロル		アブラムシ類・コナジラミ類	1000～2000	100～300L									2	2
殺菌	ネクスターフロアブル	イソピラザム		うどん粉・葉カビ	1000	100～300L				1000	100	3/8	1	1	3	3
殺菌	パンチョTF顆粒水和剤	シフルフェナミド、トリフルミゾール		うどんこ病	2000	100～300L			2						2	2,5
殺菌	ファンタジスタ顆粒水和剤	ピリベンカルブ		すすかび病・灰色かび病・葉かび病・菌核病・斑点病	2000～3000	100～300L				3000	100	2/17	1	1	3	3
殺菌	ベルクートフロアブル	イミノクタジンアルベシル酸塩		うどんこ病・すすかび病・灰色かび病・葉かび	2000～4000	100～300L									3	3
殺菌	ホライズンドライフロアブル	シモキサニル、ファモキサドン		疫病・葉かび病	1500～2500	150～300L			2						3	3,3
殺虫	マッチ乳剤	ルフェヌロン		コナジラミ類・ダニ・ハモグリバエ類・オオタバコ	2000～3000	100～300L				3000	100	3/8	1	1	4	4
殺虫	モスピラン水溶剤	アセタミプリド		コナジラミ類・アブラムシ類	2000	100～300L									3	4
殺虫	モベントフロアブル	スピロテトラマト		コナジラミ類・アブラムシ類	2000	100～300L									3	3

備考：

肥料は、完熟堆肥有機質肥料を主体に化成の窒素を15kg/10a以内に抑えます。
農薬は、リストの農薬の中から、最大20回までに抑えて使用します。
化学合成農薬の使用を必要最小限にとどめています。除草剤も使用せず、有機質を中心とした肥培管理を行い、よりよい土作り、作物作りに努めています。ホルモン処理のみでの着果促進を見直し、マルハナバチも可能な限り利用しています。

生産者　山口 靖さん
圃場　NO.　2 （22a） 麗旬
実績　0kg　、13回 （2024/3/19　現在）
5割減、5割減で表示します。

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)	実績(施肥)	実績(防除)
1月	収穫、マルハナバチが活動できない低温期は、トマトトーンを使用	収穫		防除 1/5,19,27
2月	収穫、追肥	収穫		防除 2/9,17,27
3月	収穫、マルハナバチ利用	収穫		防除 3/8
4月	収穫			
5月	収穫			
6月	収穫終了			
7月		播種 7/28		
8月	播種			
9月	ハウス、マルチ被覆、元肥、防除	定植 9/2	施肥　9/28	防除 9/3,5,12,22
10月	定植、支柱立て、防除	マルチ、ビニール被覆 10/5		防除 10/2,3,5,6,12,16,26
11月	誘引、マルハナバチ利用、防除	収穫 11/15～		防除 11/1,9,12
12月	誘引、追肥、収穫、防除	収穫		防除 12/3

播種開始:	令和5年7月28日
終了:	
定植開始:	令和5年9月2日
終了:	
収穫開始:	令和5年11月15日
終了:	令和6年6月下旬